



★ 家庭学習の手引き（家庭学習のすすめ）★

今回の「なかのだより」では、「知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進する」という中野小学校の教育目標の中でも、特に「知（確かな学力）」の部分に焦点を当てたいと思います。

中野小学校では、日々の学習を通して、「基礎基本の定着が図れるようにする」「学習したことを活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む」「学習の仕方」を学び、学習に取り組む意欲を向上させる」等のめあてが達成できるように「わかる・楽しい授業」の工夫を行っています。

「確かな学力」の育成には、学校での学習の充実とともに、「家庭での子どもの生活習慣や学習習慣」なども大切になってきます。自主的に学習に取り組む姿勢が身に付くためには、子ども自身の努力も大切ですが、学校・家庭との連携・協力が非常に大切です。子どものよりよい成長のために、それぞれの役割を理解しながら子どもたちのために、私たち大人も努力せねばなりません。

そこで、今年度も中野小学校は、「家庭学習のすすめ」と「家庭学習チェックシート（なかのマスター）」を作成しました。保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いします。チェックシートは、お子様と一緒に毎月記録し、学校に持たせてください。（「家庭学習チェックシート」は5月末に、説明のプリントとともに配付します。）

「家庭学習」をがんばると・・・



1. 習ったことをわすれません。 学校で学習したことを家庭で復習することで、定着を図ることができます。

2. 学ぶ習慣が身に付きます。

毎日決めた時間に家庭学習することにより、「おもしろい！」と感じることができます。

3. テレビ、ゲーム、携帯・スマートフォンと学習の切り替えができるようになります。 家庭学習の最大の強敵は、テレビ、ゲームなどです。

これらを見たり、使ったりする時間と「学習意欲・学習態度」とは、密接に関連しています。テレビなどの誘惑に打ち勝ち、我慢強さ、根気、集中力を養うために家庭学習をがんばりましょう。親子で「読書」をする機会も持てるはずです。

4. 家族でのふれあいの時間が増える。 音読を聞いてあげたり、分からぬところと一緒に考えたり、調べたりすることで、家族のふれあいができます。学校からの配付物にも目を通してあげてください。

○まずは、宿題をていねいにする
習慣をつけましょう！



令和2年度 家庭学習チェックシートの結果（◎をつけた割合）

- 早寝早起きができている
- 工夫して体を動かして運動（遊び）をしている
- 学校の宿題をきちんとしている
- 家での自分の仕事（役割）をきちんとしている

- 低学年→41%、中学年→36%、高学年→32%
- 低学年→68%、中学年→61%、高学年→61%
- 低学年→89%、中学年→86%、高学年→82%
- 低学年→45%、中学年→60%、高学年→53%

今年度も「◎」が
たくさんつけられるよう
がんばろう！



1. 元気・やる気

- 睡眠を十分とる
- 生活リズムを整える

学習習慣が身に付くには、「早寝・早起き」や「朝食をしっかりとる」といった基本的な生活習慣が大切です。

4つのポイント！

2. ほめて・認めて・励ます

- 「よくできたね」
- 「このごろがんばってるね」

子どもは、「もっとよくなりたい」、「もっとできるようになりたい」という気持ちをもっています。少しでも「できた」ことを認めることで、子どもの学ぶ意欲や「自分もやれるんだ」という気持ちが伸ばせます。

3. 学習しやすい環境をつくる

- 学習する時間をつくる
- 学習する場所の環境をつくる

子どもが学習する場所のテレビなどを消して、学習に集中しやすい環境をつくりましょう。子どもと、テレビやゲームについての約束をつくり、守らせることも大切です。

4. 見守る、一緒に学習する

- 学校での様子に关心を持つ
- いっしょに読書する

お家の方の关心が自分に向いているかどうかは子どもにも伝わります。また、「自分が習った時とは違っているので・・・」「難しい・・・」という声もよく聞きます。「勉強を教えることよりも「勉強をしている姿を見守る」ことが大切です。がんばっている姿を認め、やさしく背中を押してあげることが大切です。